チーム医療とそれを支えるスタッフ

当院では、ICT/AST（感染制御/抗菌薬適正使用支援チーム）、PCT（緩和ケアチーム）、RST（呼吸器サポートチーム）、APS（術後疼痛管理チーム）など多職種が連携するチーム活動に研修医も参加することができます。

ICT/AST（感染制御/抗菌薬適正使用支援チーム）回診

PCT（緩和ケアチーム）回診

檜山　直樹（ひやま　なおき）

APS 術後疼痛管理チーム

「術後の痛みを軽減し、早期退院へ繋ぐ」

ー 薬剤師 ー

私の所属している「術後疼痛管理チーム」は術後患者の鎮痛薬の効果や副作用、合併症の有無等の評価を行い、術後の痛みを軽減するための活動を行っております。術後疼痛を軽減することは術後合併症のリスクを減らし、ひいては早期退院へと繋がります。

薬剤師は、患者のアレルギーや副作用歴、服用している薬剤の種類、術前の検査結果等を確認し、術後に使用できる鎮痛薬の種類、用法・用量、投与に当たっての注意点等を医師や看護師に情報提供しています。

患者さんには「術後の鎮痛薬がどのようなお薬であるか」、「どのような副作用が懸念されるか」等について説明するとともに、投与後の鎮痛効果や副作用の確認を行います。

漢那　香織（かんな　かおり）

RST 呼吸ケアサポートチーム

「チームで協働し、患者の苦痛を軽減する」

ー呼吸器疾患認定看護師ー

RST（呼吸ケアサポートチーム）として、病棟を横断的に多職種でチームラウンドを行い、人工呼吸器の離脱支援や合併症予防、安全管理の相談やサポートを行います。人工呼吸器だけでなく、呼吸障害に関する相談を受け、病棟の看護師と一緒にケアの方法や問題解決に向けたチーム医療の介入を行っています。

現在は、呼吸器内科の病棟に所属しており、人工呼吸器装着中の患者さんの合併症予防などの呼吸ケアを行うとともに、身体所見を基に医師と臨床推論を確認し、人工呼吸器の設定や輸液管理などの特定行為を行っています。

玉城　明則（たましろ　あきのり）

ICT/AST 感染制御/抗菌薬適正使用支援チーム

「チームで協働し、院内感染を防ぐ」

ー 感染管理認定看護師 ー

当院は病院長はじめ、各診療科長・師長課長含め気軽に話しやすい現場です。

私が所属しているチームでは、ICTは患者・職員（家族）を院内感染から守る活動、ASTは多剤耐性菌の発生抑制および適切な抗菌薬使用を目的に活動し、より良い治療効果を得て感染症治療完了を目指しています。

週に１回メンバーでカンファレンスを開催し、感染管理専従看護師が臨床検査技師・薬剤師と協働し、血液培養・耐性菌情報、特定抗菌薬使用情報を収集しています。

嶺井　朋美（みねい　ともみ）

PCT 緩和ケアチーム

「チームで力を合わせてQOL向上に取り組む」

ー緩和ケア認定看護師ー

当院はチーム医療に力を入れており、多職種のカンファレンスも盛んに行われています。職種関係なく、ざっくばらんに話せる明るい雰囲気です。特に研修医とは看護師も楽しそうに話をしている印象です。

緩和ケアチームは、患者さんのその人らしさを意識し、QOLの向上を目的としています。患者さんを一人の「人」として、各専門職がその立場でアセスメントし、多職種でトータルペインについて話し合い、苦痛の緩和を図っています。

私たち認定看護師は、薬物以外での緩和方法を検討し、チームで話し合い、薬物療法と組み合わせながら患者さんがその人らしく過ごせることを目指しています。